



若手佐藤琉葵とベテラン舟橋弘典 優勝を分け合う!!

MOTUL KT CHAMP 第2大会（第3戦・第4戦）が5月26日に鈴鹿サーキット南コースで開催された。今回は、富士スピードウェイで開催されるスーパー耐久24時間レースと日程が被ったため、プロドライバーの参加は減少したものの、新規参戦もあり24台のエントリーを集めた。

レースウィークは連日夏日を記録する暑さとなったが、日曜の決勝を迎えると、時折雲が日差しを遮り、また風が強く吹くなどコンディションが一変した。

タイムトライアルでは、前回連続して2位表彰台を獲得した佐藤琉葵が今度こそとトップタイムをマーク。2番手も、第2戦で3位だった八田宗之と表彰台経験者が上位に付け、3位に小野大地、4位に2011年全日本最高峰SKFクラスチャンピオンで久しぶりのカートレース参戦となる鈴木侑也が入った。

第3戦の決勝では、PP佐藤と鈴木がマッチレースを展開。ジリジリと差を詰めていった鈴木だったが、終盤のバトルで順位を下げてしまい万事休す。佐藤が逃げ入り、KTチャンプ初優勝を飾った。

第3戦レース中のベストタイム順で並ぶ第4戦のグリッド。フロントローにはベテランの舟橋弘典がポールポジション、2番手に開幕戦勝者の上田凌成が並ぶ。レースは舟橋、谷飛鳥、上田らの戦いとなり、谷が先頭で周回を重ねていく。一時は5番手ほどまでドロップした舟橋も終盤に盛り返すと、最後は前2台の動きを読み切ったかのように2コーナーでクロスを取り、スルスルと前に出て行く。トップとなった舟橋は、最後は突き放す余力もみせ、そのままチェッカー。ベテランの巧さを発揮したレースとなった。

Rd.3

Pos.No.	Driver	Team	Frame	Engine	Q.P.	GRID
1	37 佐藤琉葵	DSM	LN KART	YAMAHA	55.255	1
2	88 八田宗之	Ash	KOSMIC	YAMAHA	55.258	2
3	44 上田凌成	ERS with SACCESS	KOSMIC	YAMAHA	55.415	6
4	89 鈴木侑也	TEAM EMATY	TONYKART	YAMAHA	55.386	4
5	42 谷飛鳥	トレンタクワトロ名古屋 with nuova	MINATOKU KART	YAMAHA	55.397	5
6	27 舟橋弘典	HIRAPRO LW Ash	MINATOKU KART	YAMAHA	55.576	7



Winner 佐藤琉葵 (DSM)

初めはセットがぎつかったのですが後半よりのセットにしていたので、良かったです。少し足りないところもあるので、少し修正して午後のレースに臨みたいと思います。

Rd.4

Pos.No.	Driver	Team	Frame	Engine	Q.P.	GRID
1	27 舟橋弘典	HIRAPRO LW Ash	MINATOKU KART	YAMAHA	55.538	1
2	42 谷飛鳥	トレンタクワトロ名古屋 with nuova	MINATOKU KART	YAMAHA	55.713	4
3	72 小野大地	チーム TKC	birel ART	YAMAHA	55.715	5
4	2 佐々木克行	シャ！ひすとリー & KCN	CRG	YAMAHA	55.923	8
5	89 鈴木侑也	TEAM EMATY	TONYKART	YAMAHA	55.842	6
6	1 森川貴光	HIRAI PRJ Ash	KOSMIC	YAMAHA	56.182	9



Winner 舟橋弘典 (HIRAPRO LW Ash)

最後、上手くいきすぎました。MINATO シャシーのいいセットが今回は見つかって戦える戦闘力になったので、今回は狙えると思っていました。勝てて良かったです。